

卓 話

平成 26 年 9 月 2 日

『青少年奉仕を学ぶ』

青少年奉仕委員会 故金正司委員長

1. 五大奉仕の定義

- (1) クラブ奉仕・・・本クラブの機能を充実させる。中クラブでは親睦、公共イメージ、会員増強、奉仕プロジェクトの各委員会で構成。
- (2) 職業奉仕・・・奉仕の理想を仕事に生かす。ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行なう。
- (3) 社会奉仕・・・地域に居住する人々の生活の質を高めるため協力する。
- (4) 国際奉仕・・・国際理解、親善、平和を推進する活動を会員が行なう。(ロータリー財団)



- | | |
|--------------|---|
| (5) 青少年奉仕・・・ | 青少年や若者に対して社会的指導力の養成活動、社会奉仕プロジェクトへの参加を呼びかけ、社会貢献への意識を高める。 |
|--------------|---|

2. ロータリーでの青少年奉仕プロジェクト

- (1) インターアクト小委員会 (532万円)
 - ・12～18歳まで
 - ・地区から532万円の補助金
 - ・地元社会や海外のクラブと友情のネットワークを築く
- (2) ロータリーアクト小委員会 (230万円)
 - ・18～30歳までの男女
 - スポンサークラブにより成立している
 - ロータリー家族の一員として奉仕のパートナーで、将来はロータリーへの入会を望む
- (3) 青少年交換小委員会 (417万円)
 - 最高で1年間、他国でホストファミリーと生活を共にして学校へ通う・・・新しい言語、自分自身の新しい発見、自国の文化を伝える親善的な役割をもつ。
- (4) 青少年育成小委員会 (23万円)
 - 青少年や若者に対して、社会的指導力の養成、社会奉仕プロジェクトの参加を呼びかけ、社会貢献への意識を高める。

3. 文部科学省キャリア教育について

- (1) 2002年より中学2年生を対象に勤労観と職業観を養う目的で全国に発信された。
- (2) 出前授業での目的と実績
 - ・世の中は原因と結果
 - ・人の役に立つという心の軸をもつこと
- (3) 2630地区での現況
 - ・津南ロータリークラブ
 - ・羽島ロータリークラブ
 - ・鈴鹿西ロータリークラブ、鈴鹿ベイ、鈴鹿シティ (おじさん先生)、高山中央ロータリークラブ